

ビジネスランチ

バイエルン独日協会およびルードヴィッヒ・マクシミリアン大学日本センターは、

Yaskawa Europe GmbH（欧州安川有限会社）Manfred Stern氏

をお迎えして、次の合同ビジネスランチを開催いたします。

講演のテーマは

„産業用ロボット – 短い歴史と現在の課題“ です。

挨拶および進行: Jürgen Betten

デジタル化およびインダストリー4.0をテーマにした今日の議論において、ロボット工学および人工知能というキーワードが広く使用されています。

本講演では、初の試みがなされた20世紀後半から自動化における次のステップとされるインダストリー4.0および協働ロボット(Cobot)に特徴づけられる今日に至るまでの産業用ロボットの短い歴史を紹介いたします。

その後、インダストリー4.0が、先進工業国において、いかに製造業の再生を可能にできるかを解説いたします。ここでは、ロボットおよびドライブのリーディングカンパニーのひとつである安川の戦略をご紹介します。過去20年間で、製造拠点が欧米から中国や低コストの国々にシフトしましたが、1915年に日本で創業した安川は、慎重に欧州の国々に投資してきました。



電気工学の修士号を取得しているManfred Stern氏は、2015年Yaskawa Europe GmbH (YEU)の社長兼CEOに就任。また、同年より、(株)安川電機執行役員として、EMEA地域（欧州、中東、アフリカ）を統括。

2008年、欧州ドライブ事業部の取締役としてYEUに入社。2010年の安川ロボット事業部との統合後、EMEA事業のためのCOOに就任し、YEUの“欧州化”を推進、欧州事業を拡大させる。

安川入社前は、インダストリーオートメーションにおける米国のグローバル企業に勤務。直近ではクリーブランドの本社において、「自動化」分野におけるグループ企業の国際的なR&D活動のためにイノベーション&テクノロジー担当のバイスプレジデントを務めた。

日独産業協会(DJW)理事。

このイベントにご招待いたします。合同ランチは、ミュンヘンおよびその周辺地域の日本企業の経営者と日本のビジネスを担当するバイエルン企業の経営者の間での情報・意見交換に役立ちます。バイエルンe.V.およびジャパンプラブのDJGのメンバーはもちろんのこと、日独関係に興味のある方々も歓迎いたします。

日時: 2019年6月4日（火）**12:00-14:00**

場所: **Hilton Park Hotel, München, Tucherpark, Raum Tivoli**

会費: 昼食代40€

2019年5月29日までに下記銀行口座に振り込み

申込み: 2019年5月29日までに電話 (089-221 863), ファックス (089-228 9598) または
Eメール (juergen.betten@djg-muenchen.de)